

平成十九年度那賀町 一般会計当初予算

百一億百二十八万三千円

三月議会におきまして、平成十九年度的那賀町当初予算が承認されましたので概略をお知らせします。

一般会計予算額は百一億百二十八万三千円で前年度と比較すると額にして十一億五千七百八十七万円の減額、率にして一〇・二％の減となっております。

昨年度は木頭体育館建設や残土処理場の整備等が行われましたが、本年度は厳しい財政状況であることをふまえ、従来にもまして経費の節減合理化に努め、既存事業の見直しを図り、事業の重要性や緊急性を考慮した予算となりました。

歳入に關しましては、国から地方への税源移譲により市町村税が増えるものの所得譲与税が廃止されたため地方譲与税が減り、地方交付税は昨年に引き続き二

億円の減額となっております。県支出金においても、災害復旧等事業の縮小に伴い大幅に減少しました。将来の財政負担を考慮し地方債の発行も抑制しております。また、財源不足を補うため町の貯金である財政調整基金から七億円、減債基金から一億円繰り入れていきます。

目的別歳出におきましては、まちづくり交付金事業を実施する総務費、住民福祉に直結した民生費等一部を除き全体的に減額となっております。

性質別歳出では、義務的経費（人件費、公債費、扶助費）の構成比は四六・九％と前年度（四三・三％）より三・六ポイント上回り高い割合を占めていますが、歳出額では一億千八十六万三千円減額の四十七億九千

六百八十七万二千円となっております。このうち人件費については、退職者の不補充給料カット等により七千六百十六万一千円の減となっております。町の借金返済にあたる公債費は昨年度に引き続き二十五億円を超え、予算額の二五％を占め財政の硬直化が顕著になっていきます。投資的経費については、事業を厳選したことにより二三・三％と前年度（三〇・二％）より六・九ポイント減少しました。

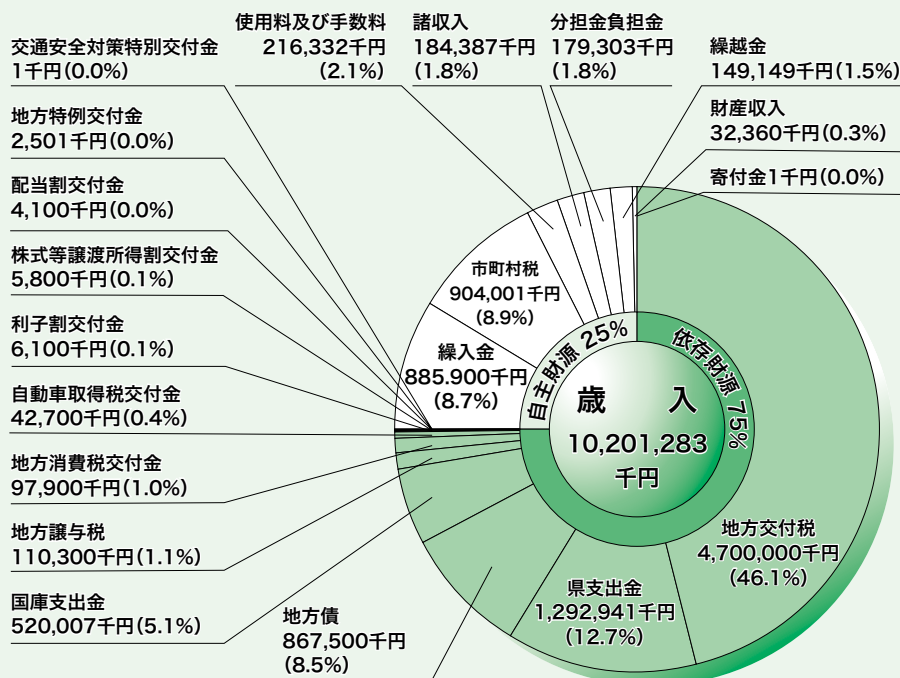
町財政を取り巻く環境は厳しい状況ですが、公共施設の耐震化を進める学校耐震診断事業、子育て支援として町単独経費を上乗せした乳幼児等医療助成事業、鳥獣被害対策事業等生活に密着した予算になっております。

歳入

一般会計歳入予算

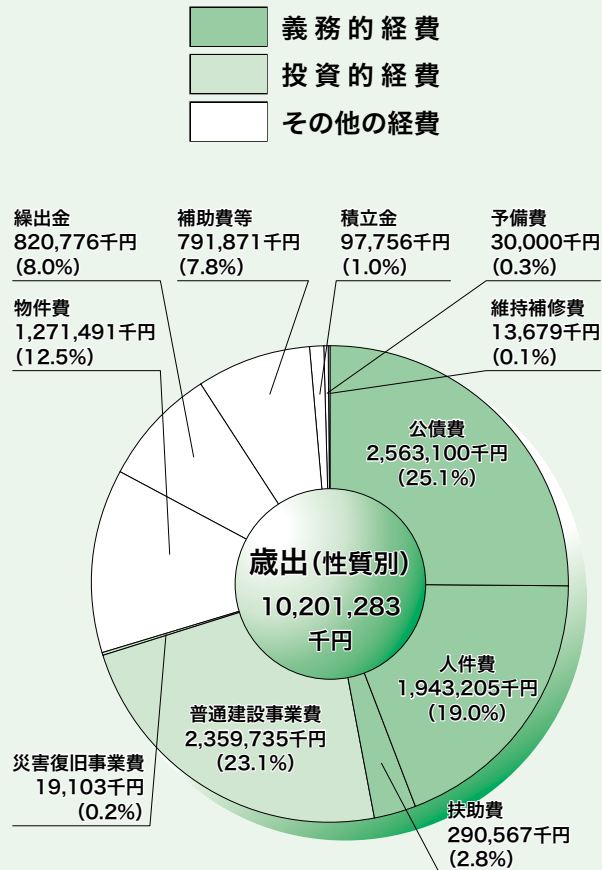
依存財源…国や県から交付される財源で、この比率が大きいほど国や県に依存している。

自主財源…町税や使用料など町が自主的に収入できる財源。

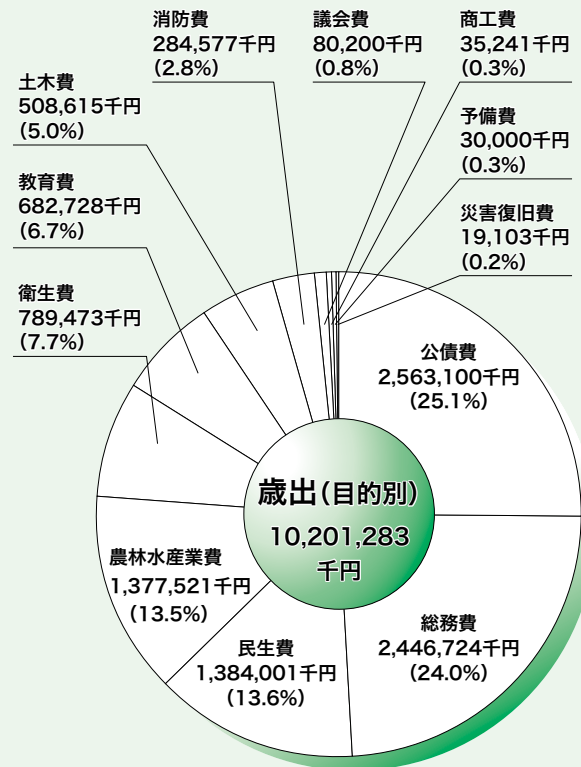


歳出

一般会計性質別歳出予算



一般会計目的別歳出予算



特別会計予算

特 別 会 計 名	本年度予算(千円)
国民健康保険事業特別会計	1,331,692
国民健康保険診療所事業特別会計	660,405
老人保健事業特別会計	1,686,396
介護保険事業特別会計	1,125,000
簡易水道事業特別会計	150,916
集落排水事業特別会計	228,071
ケーブルテレビ事業特別会計	125,945
財産区事業特別会計	449
町立上那賀病院事業会計 (公営企業会計)	565,404
工業用水道事業会計 (公営企業会計)	41,968
特別会計合計	5,916,246

本年度の主な事業 (千円)

移動通信用鉄塔施設整備事業	81,341
電源立地地域対策交付金事業	59,385
まちづくり交付金事業	606,000
地域コミュニティ助成事業	59,151
福祉のまちづくり事業	78,062
地場産業活性化事業	25,923
林道新設改良事業	521,189
町道新設改良事業	371,877
学校耐震診断事業	12,500
後期高齢者医療事務処理 システム構築線出金	13,633